

# “居場所”から見たコロナ禍の市民活動とこれから 居場所助成分析報告 & 事例発表会



9月3日(水)

14時～16時

参加無料

新型コロナウイルスの影響で、人と人とのつながりを支えていた多くの地域活動が停滞し、孤立・孤独や生活困窮の課題が深刻化しました。特に困難や生きづらさを抱えていた人々には大きな影響が及びました。

一方、このような状況下において「それでもつながり続ける」取り組みがNPOや住民主体の活動として各所で展開され、緊急事態の中、顕在化した課題に果敢に取り組む姿が全国的に見られました。

これをうけ、中央共同募金会では、2020年7月から「居場所を失った人への緊急活動応援助成」（通称「居場所助成」）を開始。これまでに1,000件を超える応募、258件・約6億円の助成を実施してきました。

本報告会では、本会が実施した全9回の助成状況から、人々が直面した「居場所」の課題に対してどのような支援活動が行われてきたか、時系列で課題と活動がどのように変化してきたかに関する調査、分析事業の報告を通じて、コロナ禍における居場所づくりの実態を振り返るとともに、今後の市民活動に必要な視点を考えるために開催します。

## 第1部 居場所助成分析調査報告 14時～14時45分

- 居場所助成調査分析の報告 中央共同募金会 基金事業部
- 分析調査から見えてくること ルーテル学院大学 名誉教授 和田敏明氏

## 第2部 事例発表会 15時～16時

- 事例発表その1  
NPO法人かごしまホームレス生活者支えあう会 居住支援担当スタッフ 村山輝さん  
「路上生活者の自立支援と居住確保者の孤立防止につなげる多目的サロン運営事業」
- 事例発表その2  
NPO法人ブエンカミーノ 事務局長 金志明さん  
「地域多世代の孤立解消のための居場所交流事業」  
コーディネーター ルーテル学院大学 名誉教授 和田敏明氏

## 第3部 交流会 16時10分～17時10分

お申込み

9月2日(火)までにWebフォームより必要事項を記入の上お申し込みください  
<https://tayori.com/f/ibasyo2025forum/>

